

6 業務実績について

(1) 給水業務の状況

区 分		20年度 (A)	19年度 (B)	比較増減 (A)－(B)	増減率 $\frac{(A)-(B)}{(B)} \times 100$	19年度 全国平均
水道事業	給水戸数 (戸)	19,155	19,316	-161	-0.8	—
	給水区域内人口 A (人)	47,920	48,608	-688	-1.4	44,864
	給水人口 B (人)	45,317	46,102	-785	-1.7	38,495
	給水区域内普及率 B/A (%)	94.6	94.8	-0.2	—	85.7
	導送配水路延長 (m)	302,877.7	301,921.4	956.3	0.3	311,970.1
鶴形簡易水道事業	給水戸数 (戸)	211	211	0	0.0	—
	給水区域内人口 A (人)	679	694	-15	-2.2	—
	給水人口 B (人)	670	685	-15	-2.2	—
	給水区域内普及率 B/A (%)	98.7	98.7	0.0	—	—
	導送配水路延長 (m)	4,462.6	4,462.6	0.0	0.0	—

(注) 19年度全国平均は、公営企業年鑑の給水人口3万人以上5万人未満の数値(以下同じ)

水道事業の給水人口は45,317人で、前年度に比較して785人(1.7%)の減、給水区域内普及率は94.6%で、前年度と比較して0.2ポイント減少している。

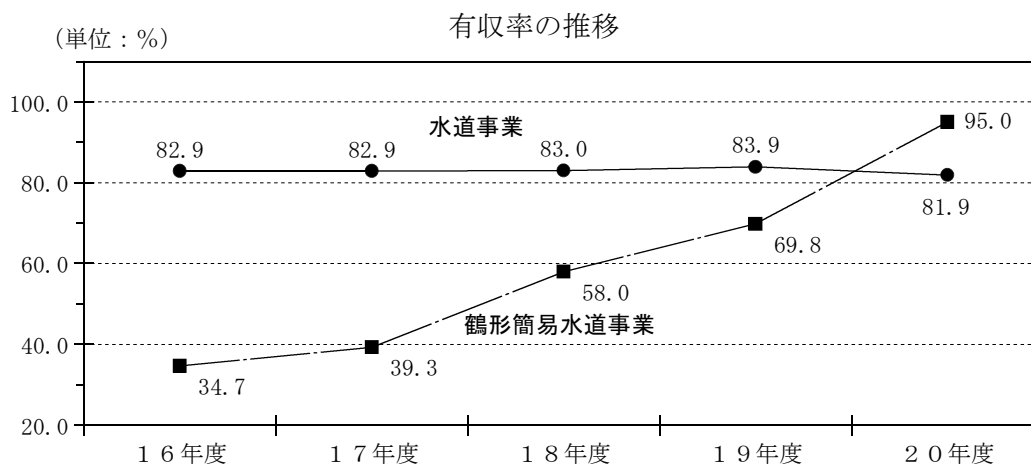
鶴形簡易水道事業の給水人口は670人で、前年度に比較して15人(2.2%)の減、給水区域内普及率は98.7%で、前年度と同率となっている。

(2) 有収率の状況

区 分		20年度 (A)	19年度 (B)	比較増減 (A)－(B)	増減率 $\frac{(A)-(B)}{(B)} \times 100$	19年度 全国平均
水道事業	年間総配水量 A (m ³)	5,244,956	5,313,401	-68,445	-1.3	5,114,247
	年間有収水量 B (m ³)	4,296,757	4,459,820	-163,063	-3.7	4,385,779
	有収率 B/A (%)	81.9	83.9	-2.0	—	85.8
鶴形簡易水道事業	年間総配水量 A (m ³)	49,999	69,572	-19,573	-28.1	—
	年間有収水量 B (m ³)	47,505	48,570	-1,065	-2.2	—
	有収率 B/A (%)	95.0	69.8	25.2	—	—

水道事業では、前年度に比較して、年間総配水量は1.3%、年間有収水量は3.7%それぞれ減となり、この結果、有収率は81.9%と前年度に比較し2.0ポイント減少している。

鶴形簡易水道事業では、前年度に比較して、年間総配水量が19,573m³(28.1%)減となり、有収率が95.0%と前年度に比較して25.2ポイント向上している。これは平成19年11月に行った漏水修理によるもので、当年度においてもその結果が反映されたものである。



水道事業の有収率は、ここ数年微増の傾向にあったが、当年度では前年度に比較して2.0ポイント低下となった。これは、浄水場一元化に伴う切り替え作業により発生した濁りを解消するため、管洗浄用として大量の配水がなされたことが主な要因となっている。

鶴形簡易水道事業の有収率は、漏水個所が修繕された時点から向上しており、今後も、水道事業を超えて推移するものと見込まれている。

(3) 稼働状況

区 分		20年度 (A)	19年度 (B)	比較増減 (A) - (B)	増減率 $\frac{(A)-(B)}{(B)} \times 100$	19年度 全国平均
水道事業	給水能力 A (m ³)	25,600	25,600	0	0.0	23,745
	一日最大配水量 B (m ³)	24,352	17,588	6,764	38.5	16,957
	一日平均配水量 C (m ³)	14,370	14,517	-147	-1.0	13,973
	施設利用率 C/A (%)	56.1	56.7	-0.6	—	58.8
	最大稼働率 B/A (%)	95.1	68.7	26.4	—	71.4
鶴形簡易水道事業	給水能力 A (m ³)	376	376	0	0.0	—
	一日最大配水量 B (m ³)	250	265	-15	-5.7	—
	一日平均配水量 C (m ³)	137	190	-53	-27.9	—
	施設利用率 C/A (%)	36.4	50.5	-14.1	—	—
	最大稼働率 B/A (%)	66.5	70.5	-4.0	—	—

水道事業の一日最大配水量は、平成20年7月10日の24,352m³で、前年度に比較して6,764m³の増となり、これにより最大稼働率は、前年度を大幅に上回る95.1%となった。これは、前述のとおり、濁り解消のため管洗浄用として大量の配水がなされたことによるものである。

鶴形簡易水道事業の一日最大配水量は250m³で、前年度に比較して15m³の減、一日平均配水量は137m³で、前年度に比較して53m³の減になっている。これにより施設利用率は36.4%、最大稼働率は66.5%となった。